

# 事例から考える刑事証拠法

川出敏裕 = 池田公博 = 笹倉宏紀 = 成瀬 剛 著

## 担当編集から

公判で証拠法の適用される場面については具体的なイメージをもてない方も多いのではないのでしょうか。本書は、「事例と設問」という演習書形式をとり、証拠法の適用場面について読者の皆さんが具体的なイメージをもてるよう工夫されています。証拠法の世界の手触りを感じながら、設問が何を問っているのかをぜひ考えてみてください。ページをめくった先の解説ではこれらの問題に関する基本的な考え方が示されます。教科書では簡単にしか触れられていないために理解しにくい事柄を丁寧に解きほぐしたり、少し違った角度から説明したりと、証拠法上の問題を一段も二段も深いところから理解できる解説は非常に読み応えがあり、ときに「真に問われていることは何か」と読者の証拠法理解の根本に鋭く迫ります。何度も反芻し、続く事例解決のための道筋へと読み進めましょう。

本書を通じて読者の皆さんの刑事証拠法の理解、そして刑事証拠法の世界への関心がますます深まることを願ってやみません。(O)

## Point

実務家の先生方をお招きした巻末の座談会も読み応え十分で、お薦めです。

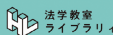
- 第1講 伝聞証拠の意義——真に問われているのは伝聞法則の知識ではない
- 第2講 伝聞供述——証人尋問・被告人質問のあり方
- 第3講 検察官面前調書(2号後段)に関する問題
- 第4講 証明力を争う証拠
- 第5講 犯行再現実況見分調書
- 第5講(補講) 犯行再現実況見分調書——再現実況見分調書をめぐる実務の動態
- 第6講 取引に関する書面

- 第7講 同種前科・類似事実による立証
- 第8講 科学的証拠
- 第9講 自白法則——何を排除したいのか
- 第10講 取調べの録音・録画記録媒体の証拠としての利用
- 第11講 違法収集証拠排除法則——判断基準と判断要素
- 第12講 違法収集証拠排除法則——任意捜査の違法と違法の事後的な糊塗
- 第13講 派生証拠の証拠能力
- 座談会 刑事証拠法の考え方と学び方

## 事例から考える 刑事証拠法

川出敏裕 / 池田公博  
笹倉宏紀 / 成瀬 剛

Criminal Evidence: Case Scenarios and Essay Development  
A Commentary Bridging Theoretical Foundations and Practical Application  
KAWAIDE Toshihiko / IKEDA Kimihiko  
SASAKURA Hiroki / NARUSE Go



## 刑事証拠法の理解を、 徹底して鍛える。

多くの読者に絶賛された連載を待望の単行本化。  
捜査法以上にイメージを持ちにくい刑事証拠法上の諸問題について、  
具体的な事例を設定し、その基本的な考え方を解説、事例解決までの道筋を示す。  
——証拠法を基礎的、かつ立体的に理解するために。



レベル	用途	対象
中級 上級	学習 研究 実務	学部 LS 研究 法曹

2025年12月発売 / 446頁 / 定価4510円(税込)  
A5判 / 並製

詳細を  
見る



詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。